

# 赤十字防災セミナー



災害から、あなたと周囲の人々のいのちを守るように、  
「赤十字防災セミナー」に参加してみませんか？

**対象** 町内会・自治会から小学校区程度までを範囲とし、原則として地域住民の方

**会場** 地域のコミュニティセンター、公民館、学校教室・体育館など

- 内容**
- ・ 災害への備え
  - ・ 家具安全対策ゲーム (KAG)
  - ・ 災害エスノグラフィー
  - ・ おうちのキケン
  - ・ 災害図上訓練 (DIG)
  - ・ ひなんじょ たいけん

以上のカリキュラムを、自由を選択・組み合わせることが可能です。

詳細は裏面をご覧ください。

# 「自助」と「共助」の力を高め、人々のいのちを守りたい

私たちは、赤十字防災セミナーを通じて、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることで、地域の住民の方々が自ら、災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目指します。

## 今後、発生が予測される 大規模災害に対して

私たちは、過去の災害から得た教訓を踏まえ、将来の大規模災害から人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災教育が極めて重要だと考えています。

### 【カリキュラム一覧】

- 1** 日本赤十字社の紹介（約10分間）  
日本赤十字社の現在の活動内容や、災害時の役割、防災・減災への取り組みについて理解する。
- 2** 災害への備え（約60分間）  
災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- 3** 災害エスノグラフィー（約120分間）  
大規模災害の被災者の体験談を通じて、災害を迫体験することで被災の具体的なイメージを理解する。
- 4** 災害図上訓練（DIG: Disaster Imagination Game）（約120分間）  
地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- 5** 家具安全対策ゲーム（KAG）（約30分間）  
おうちのケン（小学5・6年生普及モデル）（約45分間）  
自宅（部屋）の平面図を描くゲームを通じて、地震で起こる被害や危険な場所を把握し、家具の安全対策の必要性を理解する。
- 6** ひなんじゃたいけん（約90分間）  
避難所を作るカードゲームを通じて、大地震後の避難所生活の一部を体験し、「避難者の目線で心がける要点」を理解する。

必要なカリキュラムを選択・組み合わせることで実施

地域住民の  
防災・減災に関する  
知識・意識・技術の  
普及向上

地域における  
災害発生時の  
応急対応にあたる  
リーダー層の育成



### Q 日本赤十字社がなぜ地域住民の防災教育を？

A これまで私たちは、長年にわたり救護活動の経験を蓄積してきました。各自治体が実施する防災対策と連携しながら、赤十字のノウハウを活用して、全国に約30万近く存在する地縁団体（自治会、町内会）のレベルから、地域の「自助」と「共助」の力をさらに高められるようサポートします。



日本赤十字社島根県支部 事業推進課

電話 0852-21-4237

E-Mail [shinsei@shimane.jrc.or.jp](mailto:shinsei@shimane.jrc.or.jp)

セミナー紹介動画はこちら⇒  
(Youtube)

